

価値創造プロセス

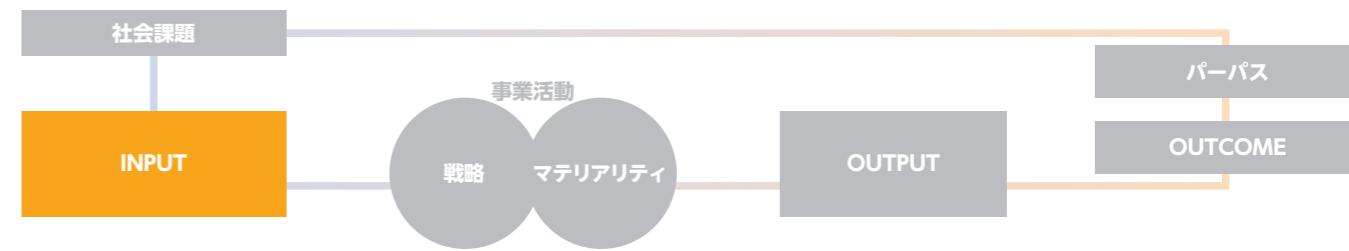




INPUT

6つの資本

当社グループの経営基盤を支え、価値創造の源泉となるのが「財務」「製造」「知的」「人的」「社会・関係」「自然」の6つの資本です。それぞれの資本をインプットとして活用し、生み出したアウトプット・アウトカムを通じて、これら6つの資本をさらに蓄積、強化していきます。



※数字は、特記のない限り、2025年3月末現在のものです

財務資本



企業の持続的成長に向けた投資は、健全な財務基盤によって実現可能となります。当社グループは第2次中期経営計画で2030年度までに1,000億円の事業投資を行うことを目標に掲げています。積極的な事業投資を推進し、グループの価値創造を支えます。

| | | |
|--------|-----------------|----------|
| 連結売上高 | 6,544 億円 | (2024年度) |
| 営業利益 | 118 億円 | (2024年度) |
| 経常利益 | 128 億円 | (2024年度) |
| ROE | 7.5% | (2024年度) |
| 自己資本比率 | 54.8% | (2024年度) |

人的資本



2024年3月に「人的資本経営に関する基本的な考え方」を開示しました。当社グループは、人材を最大の経営資本と捉え「人財力」を高めることが、企業価値の最大化・永続的な発展につながると考えています。また「人材ポートフォリオの最適化」「働きやすさの創出」「多様な人財の活躍促進」を通じて、社員のエンゲージメント向上に取り組んでいます。

| | | |
|----------------|----------------|----------|
| 連結従業員数 | 1,841 人 | |
| 従業員1人あたりの教育費 | 97 千円 | (2024年度) |
| 採用に占めるキャリア採用割合 | 73% | (2024年度) |
| 新卒採用人数に占める女性割合 | 15.9% | (2024年度) |

製造資本



当社グループは1952年の創業以来、航空燃料取扱業をはじめ、石油、LPガス、化学品、都市ガスを含む天然ガス販売業と事業領域を拡大してきました。全国に広がる拠点を効率的に活用し、安定供給につなげていきます。

| | | | |
|-------------|----------------------|----------------|------------------|
| 主要油槽所 | 4ヶ所 | サービスステーション（系列） | 全国 981 ヶ所 |
| LPガス充てん所 | 11ヶ所 | 航空燃料取扱業務を担う拠点 | 全国 27 ヶ所 |
| 化学製品製造所（工場） | 1ヶ所 （三愛理研（株）） | 天然ガス導管網総延長 | 479.9km |

社会・関係資本



企業価値向上には、お客さまをはじめ、社員、地域社会、株主、投資家、取引先などさまざまなステークホルダーとの良好な関係づくりが大切です。社内外のステークホルダーとの積極的かつ建設的な対話を通じて、企業価値の向上を図っていきます。

| | | |
|---------------------|-----------------------------|--|
| 創業 | 73年 （創立1952年） | |
| 三愛オブリグループ会社数（連結子会社） | 23社 | |
| 特約店販売サポート（石油・LPガス） | 677社 （石油385社・ガス292社） | |
| LPガス小売顧客軒数 | 122千軒 | |
| 各拠点地域における社会貢献活動数 | 76件 | |

知的資本



知的財産や技術力など、無形資本の重要性が高まる中、当社グループ全体で知的資本の最大化を図ることが重要です。また知的資本の強化は将来、当社グループを支える事業の柱を増やし、育てることにつながります。今後も各事業における新たな知的資本の創出、強化を推進していきます。

| | |
|--------------------------------|-------------|
| ハイドロントシステムによる航空機への効率的給油 | |
| LPガス小売販売におけるLPWAシステムを活用した保安高度化 | |
| 風力発電所向け内視鏡調査技術（ボアスコープ調査） | |
| クリーンテック事業における金属表面処理技術 | 特許8件 |

自然資本



当社グループの事業は天然資源やエネルギーに依存していますが、エネルギー供給を担う者の責務として、資源とエネルギーの効率的利用を追求し、環境負荷低減に取り組んでいきます。

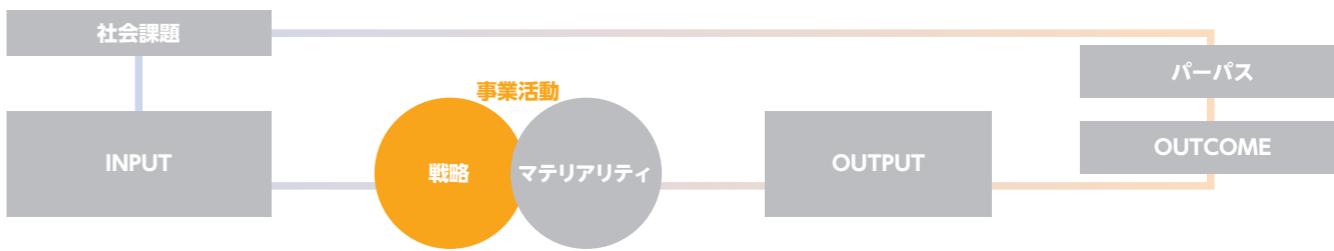
| | | |
|------------------------------------|--------------------------|----------|
| CO ₂ 排出量（Scope1、Scope2） | 14,940t | (2024年度) |
| 水使用量 | 257千m³ | (2024年度) |
| 廃棄物量 | 3,317t | (2024年度) |
| グリーン電力購入量 | 2,839千kWh | (2024年度) |
| 太陽光発電所 | 4ヶ所 | |



事業活動

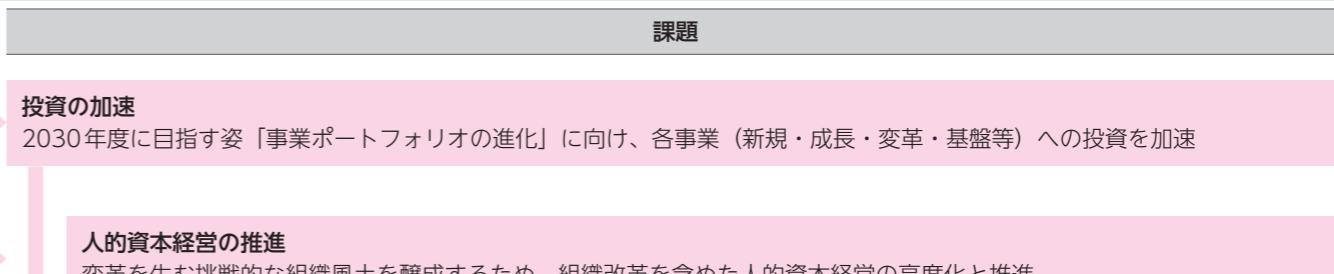
戦略—第2次中期経営計画

三愛オブリグループは、2030年度に目指す姿「低炭素・循環型社会に対応した事業ポートフォリオへの進化」を実現するため、中期経営計画「変貌する未来への挑戦～Challenge2030～」の第2ステージとして「戦略の実行と投資の加速」を推進し、新たな事業ポートフォリオの実現に向けた動きを加速していきます。



1st Stage 中期経営計画（2021-2023年度）～成長実現のための経営基盤の再構築～

| | 施策 | 成果 |
|------------|-------------------------|----|
| 事業戦略 | 石油関連事業の効率化と他事業への経営資源の拠出 | ○ |
| | 成長可能性のある事業へのM&Aを含めた投資 | ✗ |
| | 事業間連携によるさらなるシナジー創出 | ○ |
| 事業を支える組織強化 | グループマネジメント体制の強化 | ○ |
| | 変革を生む挑戦的な組織風土の醸成 | △ |



2nd Stage 中期経営計画（2024-2026年度）～戦略の実行と投資の加速～

※レビューは
2026年度実施予定

事業戦略

| |
|--|
| 1. 成長可能性のある事業への資本と人財の投下 |
| ▶航空関連 安全・安心を最優先に、需要増への対応 |
| ▶ガス関連 (LPガス) LPガス小売軒数17万軒 (天然ガス) 設備投資加速と提案型営業で顧客拡大 |
| ▶化学品関連 サプライチェーン全体への投資加速 |
| ▶その他(クリーンテック事業) 半導体製造装置洗浄拡大と新技術・薬剤開発 |
| 2. 石油関連事業の収益維持・ビジネスモデル変革 |
| ▶石油関連 販売拠点の拡大維持と新業態への探索 |
| 3. グリーンエネルギー・環境配慮型事業への参入 |
| ▶その他(新規事業) 既存領域の拡大と新領域への投資加速 |

サステナビリティ経営の実践

- 4. 事業を加速させる経営基盤の強化
 - ▶人的資本経営
事業ポートフォリオ進化の実現に向けた人財基盤構築
 - ▶DX推進
デジタル化、データ活用を通じた経営・事業改革
 - ▶低炭素・循環型社会への貢献
カーボンニュートラルに向けたロードマップ実現
- 5. 投資管理体制強化と株主還元の拡大
 - ▶WACC(加重平均資本コスト)を意識した成長事業への投資
 - ▶利益に応じた配当政策と機動的な資本政策の実現により、年間配当金100円/株を下限、総還元性向100%を目指す



投資の加速

全社投資計画（2024-2026年度）

| 設備投資 | 計450億円 | 事業投資 | 150億円 | 投資合計 |
|-------|--------|--------------|-------|-------|
| 維持・更新 | 150億円 | 新規・増設 | 300億円 | 600億円 |
| | | 周辺事業を含めた領域拡大 | | |

2024年度投資実績

79億円

人的資本経営の推進

- 人財ポートフォリオの最適化
将来事業ポートフォリオ実現に向けた人財創出サイクルを構築し、人財ポートフォリオを進化
- 採用
新卒・キャリア採用を含め、多様性のある人財を採用
- 育成・教育
キャリアパス制度の確立・推進
リカレント教育／リスクリギングの推進
- 人財配置
人事データの取得・活用による人財管理の高度化
成長分野への積極的配置

多様な人財の活躍促進

- シニア
シニア向け制度の再構築
- 女性・障がい者
女性活躍／
障がい者活躍に向けた制度整備
- 転職者
アルムナイ制度[®]の導入
※一度自社を退職した人材を再び採用すること

働きやすさの創出

- 働き方改革の推進
- 健康経営の推進
(健康経営優良法人 ホワイト500)
- 福利厚生制度の充実
- 風通しの良い企業文化

エンゲージメント向上

| 非財務目標 | 目標（2026年度） | 2024年度実績 | 2023年度実績 | 2022年度実績 | 2021年度実績 |
|----------------|---|----------|----------|----------|----------|
| 従業員1人あたりの教育費 | 120円 人財育成の加速と変革へのチャレンジ | 97千円 | 90千円 | 101千円 | 68千円 |
| 採用に占めるキャリア採用割合 | 同水準（直近3ヶ月平均：59.6%） 専門性の高い人財を確保し、新分野へのチャレンジ | 73% | 70.8% | 63.2% | 20% |
| 新卒採用人数に占める女性割合 | 30%以上 多様性により事業変革促進 | 15.9% | 32.6% | 10.3% | 21.8% |
| 女性管理職割合 | 6%以上 女性活躍の推進 | 6.4% | 5.1% | 4.9% | 4.3% |

| 財務目標 | 目標（2026年度） | 2024年度実績 |
|--------|------------|----------|
| 連結経常利益 | 130～150億円 | 128億円 |
| 連結ROE | 8%以上 | 7.5% |

| 株主還元 | 目標（2026年度） | 2024年度実績 |
|-------------|-----------------------------|----------|
| 1株当たりの年間配当金 | 2024-2026年度の3年間は、100円を下限とする | 100円 |
| 総還元性向 | 2024-2026年度の3年間は、100%を目指す | 118.3% |

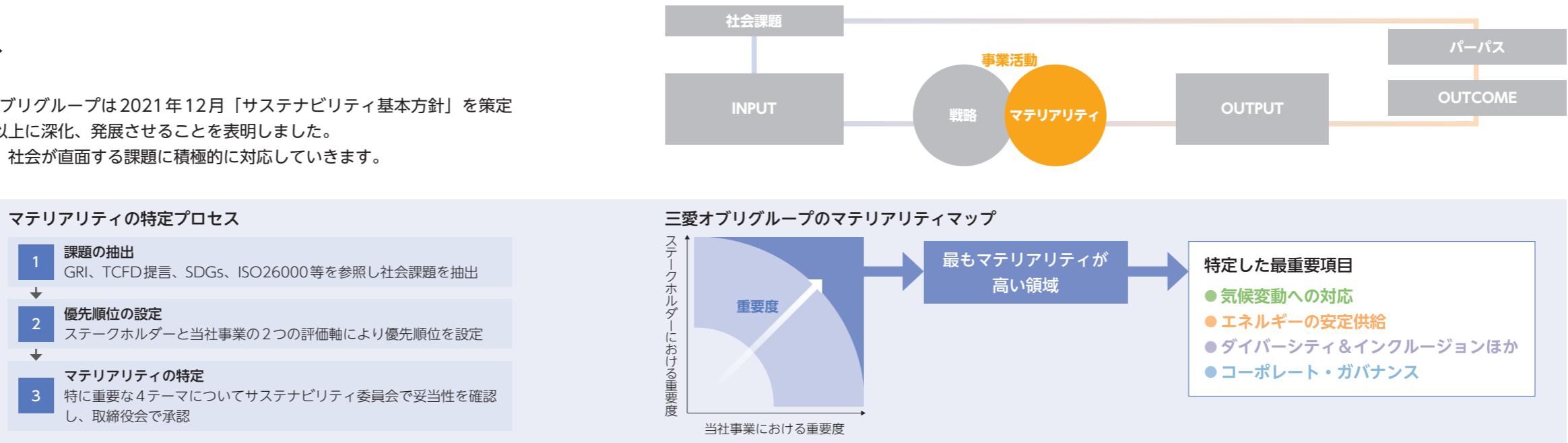


事業活動 マテリアリティ

地球規模で環境・社会問題が深刻化する中、三愛オブリグループは2021年12月「サステナビリティ基本方針」を策定し、サステナビリティに関する取り組みをこれまで以上に深化、発展させることを表明しました。当社グループの経営資源と事業特性を活かしながら、社会が直面する課題に積極的に対応していきます。

マテリアリティの特定

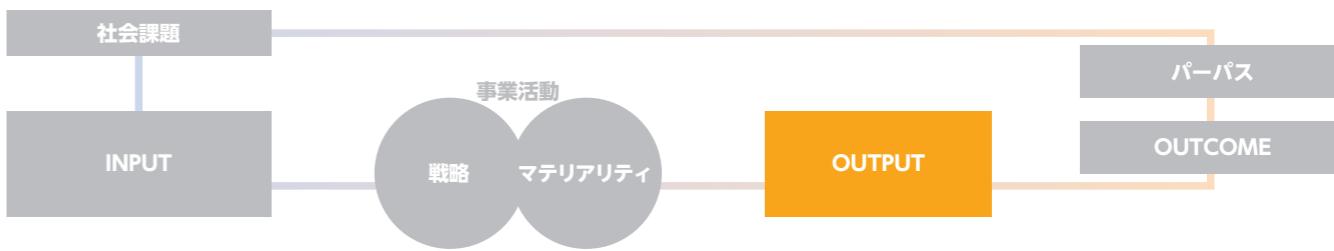
現代社会には数多くの社会課題が存在しますが、すべてに取り組むことは不可能です。そこで、当社グループの事業活動と社会課題の関連性を整理し、優先的に取り組む重要課題（マテリアリティ）を特定しました。さらに特定した課題がSDGsのどのターゲットに該当するか、主な取り組み事例とともに以下の表で紹介しています。



| マテリアリティ | 概要 | 主な取り組み | 実績（2024年度） | SDGs ターゲット |
|---|---|--|---|---|
| 気候変動への対応 カーボンニュートラルな社会の実現に向けた取り組み | 私たちは、エネルギー供給を担う者の責務として、資源とエネルギーの効率的利用を追求し、地球環境を健全な状態で子孫に残すため、環境負荷の抑制に取り組みます。 | <ul style="list-style-type: none"> サービスステーション新業態への転換 電気自動車等への対応 水素燃料インフラの整備 天然ガスによるOES（オンラインエネルギーサービス）の展開 グリーンLPG等オフセット商品の販売 TCFD提言に基づく情報開示 自社グループのGHG排出削減 生分解性プラスチックの拡販 洗車機からの浄化排水 「美里町脱炭素ビジョン」に向けた協定締結 太陽光発電システムの設置 | <ul style="list-style-type: none"> 水素ステーションの建設（三愛オブリテック（株））：13件（累計） コーディネ大賞2024 理事長賞受賞（エネルギーソリューション事業部） GHG排出量削減に向けた取り組み：2019年度（基準）比2,821t削減 みやき町との包括連携協定締結（三愛オブリガス三神（株）ほか2社） 上峰町とのカーボンニュートラルLPGの供給協定締結（三愛オブリガス三神（株）） | 世界のエネルギー믹스における再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる 気候変動対策を戦略及び計画に盛り込む あらゆる種類の海洋汚染を防止する |
| エネルギーの安定供給 人々の生活と産業を支えるパートナーを目指す | エネルギーを安全、安定的に供給することで、人々の生活と産業を支えるパートナーとして社会の発展に貢献します。危険物を取り扱う企業として、危機管理と事業継続計画の強化に努めます。 | <ul style="list-style-type: none"> 調達ルートの強化 サービスステーションの非常用設備の充実 危険物施設の安全操業、技術継承 DXの推進（DX推進委員会の設置） 特約店からの運営継承（当該地域におけるエネルギーアクセスの確保） 油槽所の代替利用 危険物施設の災害対応 環境安全監査の実施 羽田空港第2貯油基地の建設と航空人材の確保 | <ul style="list-style-type: none"> DX推進による業務効率化：削減時間3,484h 環境安全監査の実施：234ヶ所 SOMPOリスクマネジメント社による労災リスク調査：13ヶ所 羽田空港第2貯油基地の建設：2028年竣工予定（航空事業部） 調達強化に向けたサプライチェーン統括課の新設（化学品事業部） キグナス石油（株）油槽所の強靭化工事 | 安価かつ信頼できる現代的なエネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する 総合的な災害リスクの管理 多様な経験や資源戦略を基にした効果的なパートナーシップを奨励・推進する |
| ダイバーシティ&インクルージョンほか 人材の確保と育成 | 自社グループの発展と個人の幸せの一一致を図るために人材育成やダイバーシティの推進、健康経営に取り組みます。多様な価値観によりイノベーションを創出し、社会に新たな価値を創造します。 | <ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティの推進 女性活躍推進法への対応 障がい者雇用 両立支援制度の充実 柔軟な働き方の推奨 人材育成、研修の充実 エンゲージメント向上の取り組み サンクスピント・相互称賛・見える化 健康経営の推進 人的資本経営の推進 人権推進 | <ul style="list-style-type: none"> エンゲージメント向上施策「Obbli Awards 2024」の開催 「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）ホワイト500」に認定 「三愛オブリグループ 人の資本経営に関する基本的な考え方」を開示 「三愛オブリグループ 人権方針」制定 「三愛オブリグループ カスタマーハラスメントに対する基本方針」制定 | あらゆる意思決定の場に女性が参画平等なリーダーシップの機会確保 イノベーションを支援する人材開発 あらゆる年齢の人々の健康的な生活の確保 |
| コーポレート・ガバナンス 経営の効率化と透明性を確保しステークホルダーの信頼を得る | 経営の効率化と透明性の向上に努め、コンプライアンス経営に徹します。実効性の高いコーポレート・ガバナンス体制を構築し、その仕組みを重層的に運用することで業務の適正を確保します。 | <ul style="list-style-type: none"> 内部統制の強化 社外役員によるガバナンスの強化 意思決定と透明性の確保 コンプライアンス経営の推進 サステナビリティに関する取り組みの定期報告 「企業価値向上に向けた現状分析」と中期経営計画の開示 TCFD提言に沿った情報開示 | <ul style="list-style-type: none"> 社外役員：5名（2025年10月現在） 内部統制委員会の実施：年4回 内部監査の実施：184事業所 「三愛オブリグループ 持続可能なサプライチェーン方針」制定（2025年4月） コンプライアンス委員会の実施：年12回 「サステナビリティレポート」の定期発行 WEB配信による決算説明会の実施 TCFD提言に沿った情報開示 | 企業の持続可能性に関する取り組みを報告 専門的知識、知見を持つステークホルダーとのパートナーシップ強化 |

OUTPUT 事業概況

4つの中核事業のほか、グループ会社とのシナジー効果を最大化し、
お客様の幅広いニーズにお応えする商品やサービスを提供しています。



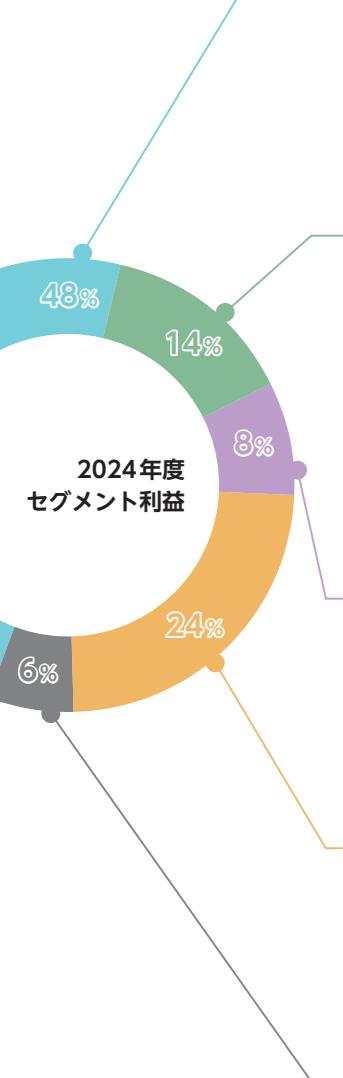
イントロダクション

価値創造の全体像

特集

サステナビリティ活動

データ



石油関連事業

石油製品販売業

特約店への卸売や需要家向けなどの産業用燃料および潤滑油の販売、サービスステーションでの小売販売を通して全国に石油製品を供給しています。



ガス関連事業

LPガス販売業

家庭用から業務用までのLPガスの販売、また、産業用の一般高圧ガス、エアゾール用脱臭ガス、特殊ガス、オートガスの販売を行っています。



天然ガス販売業

全国の工場などに省エネ・省コスト構築のための総合エネルギー供給システムを提案し、天然ガスを販売しています。また、佐賀ガス(株)では一般家庭向けの都市ガス供給も行っています。



化学品関連事業

化学品製造販売業

工業用防腐・防カビ剤や自動車用ケミカル商品などの開発・製造・販売と、商社としてお客様のニーズに沿った化学品の販売を行っています。



航空関連事業

航空燃料取扱業

羽田空港でのハイドランシステム（地下パイプラインによる給油システム）による航空燃料取扱業務のほか、各地の空港で給油業務や給油施設の管理等を行っています。



その他事業

建設工事業、クリーンテック事業のほか、遊休地などを活用し太陽光発電所を運営しています。

価値創造の源泉・強み

技術力

航空機給油施設（ハイドランシステム）の設計・運用のノウハウを有し、研究所ではケミカル商品の開発を行っています。また、三愛オブリテック（株）が持つ金属表面処理技術には定評があります。

信頼性

都市ガス事業における天然ガスパイプラインの導管管理をはじめ、高圧ガス施設や油槽所など危険物施設の安全操業に実績があります。小売部門は高い保安基準のもと、お客様へ信頼とサービスをお届けしています。

主要な油槽所 サービスステーション（系列）

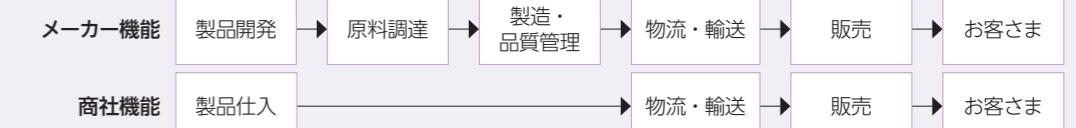
4ヶ所 全国 981ヶ所



LPガスの充てん所（エアゾール用含む）
特約店
11ヶ所 全国 292店

天然ガス導管網の総延長
479.9km
三愛オブリ（株）：46.1km
佐賀ガス（株）：349.1km
伊万里ガス（株）：84.7km

製造販売している製品
約 700 製品

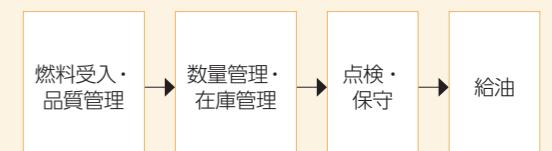


三愛オブリグループが航空燃料取扱業務を担う拠点
全国 27ヶ所

羽田空港における三愛オブリ（株）による航空機への給油便
約 355 便/日

三愛オブリ（株）の太陽光発電所
4ヶ所

クリーンテック事業の金属表面処理技術
特許 8件



2025年3月末現在



OUTCOME



ステークホルダーへの価値創出

三愛オブリグループでは、幅広いステークホルダーと対話をを行い、新たな価値提供に向けて、邁進しています。

| 人 | 国 | 勤め |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ▶ 消費者 お客様から選ばれるため、競争力を高めていくとともに、お客様のニーズに応え、満足度の高い製品・サービスを提供しています。 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域社会 自社製品・サービスを通して地域住民の生活インフラを支えています。 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 従業員 従業員がいきいきと働けるよう、健康経営に取り組み、より良い職場環境を提供するとともに、一人ひとりの成長を促すための施策・研修に取り組んでいます。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ▶ 取引先 公正な取引を行い、双方の持続的発展につなげています。 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 環境 気候変動への対応は当社が取り組むべき課題であり、事業戦略に組み込んで課題解決に努めます。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ▶ 株主 株主・投資家のみなさまに対し情報開示に努めるとともに中期経営計画を公表し、オンラインによる決算説明会を実施しています。 | | |

2021-2023

第1次中期経営計画
成長実現のための
経営基盤の再構築

2024-2026
第2次中期経営計画
戦略の実行と
投資の加速

2030 目指す姿

低炭素・循環型社会に対応した
事業ポートフォリオへの進化

2030年度に目指す姿である
『低炭素・循環型社会に対応した事業ポートフォリオへの進化』を実現させるため、
第1次中期経営計画では『成長実現のための経営基盤の再構築』を
テーマに取り組んできました。
第2次中期経営計画では、
基本方針『戦略の実行と投資の加速』を推し進めることで、
成長事業、新規事業領域を拡大させ、目指す姿の実現に取り組みます。

目指す事業ポートフォリオ

当社が特定するサステナビリティに関する4つのマテリアリティ（重要課題）を「事業戦略」と「サステナビリティ経営の実践」により解決し、2030年度には「低炭素・循環型社会に対応した事業ポートフォリオへの進化」の実現を目指します。

